

第4回境港市総合戦略推進会議録

日 時：平成27年10月14日（水） 18：30～19：30

場 所：境港市民会館 2階 大会議室

出席者：別添のとおり

日 程：

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 協議事項
 - ・境港市総合戦略（案）・人口ビジョン（案）について
 - ・その他
4. 閉会

《開会》

（事務局）

皆様、本日は、ご多忙の中、本推進会議にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。只今より、「第4回境港市総合戦略推進会議」を開催いたします。

まず、本日の資料の確認をさせていただきます。

本日お配りしております、1枚ものの「次第」、「出席者名簿」、「配席表」、「参考資料：地方創生の深化のための新型交付金」と事前にお配りしております「境港市総合戦略（案）」、「境港市人口ビジョン（案）」、「境港市総合戦略」骨子（案）への意見募集の結果及び意見に対する回答」となります。全てお揃いでしょうか。

それでは、以降の会議の進行については、梶田会長にお願いしたいと思います。梶田会長、よろしくお願いいたします。

（会長）

それでは、第4回の境港市総合戦略推進会議を開催させていただきます。

今年の5月1日に第1回会議を開催し、今回で4回目ということですが、4回の会議ということで議論が十分できたかという懸念もありますが、今回最終案を提示してもらうということになります。内容については、あらかじめ項目としては全部カバーされているものと考えています。

境港市は「魚」と「鬼太郎」と「港」の3つでまちおこしをしていくということですが、境港市の特性としては、「境港」という港、「境漁港」という漁港。「米子鬼太郎空港」という空港の3つの港があるということが他の地区と違っているところであります。しかもこの港は島根半島という天然の防波堤に守られ、このような素晴らしい防波堤に守られた港は他にはなく、ま

た北東アジアのゲートウェイとしての地政学的なポジションなどたくさんの素材があります。鳥取県、島根県見渡しても境港市ほど多くの素材をもった地域はないものと考えています。今日、最終案の提示を受けますが、これで終わりではなくこれからがスタートです。計画を作って、後は市なりなんなりにやってもらえばいいというものではありません。これからも戦略・施策の効果検証、見直しについても皆様方の協力をいただくことになると思っております。

それでは早速、次第3、「協議事項」の「境港市総合戦略（案）・人口ビジョン（案）」について事務局より説明をお願いします。

（事務局）

それでは、「境港市総合戦略（案）・人口ビジョン（案）」の説明をさせていただきます。

まず人口ビジョン（案）について説明資料の「境港市人口ビジョン（案）」に基づき、説明をさせていただきます。

前回の会議でお示した内容に加え、第3章として「人口の将来展望」を追加しております。

具体的には市内に在住する20歳から39歳までの男女を対象に「結婚・出産・子育て」に関する意識調査のアンケートを7月15日から8月14日まで実施しましたので、その集計結果を23ページから28ページまで掲載しております。

また、29ページには、目指すべき将来の方向として、人口減少に歯止めをかけるためには、結婚から妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を充実させ、安心して結婚、子育てができる環境を整備し、合計特殊出生率を向上させることと、社会動態を改善させるために本市の水産・観光資源などを活かした産業の振興や、それに伴う雇用の創出を進め、本市に住みたいと思ってもらう魅力づくりを同時に行っていくことが必要であることを示すとともに、人口の将来展望としまして、これまでもお示ししてきたように合計特殊出生率を向上させた場合の人口推計と社会動態をゼロとした場合の人口推計を複合させた推計結果を本市の将来人口の目標とすることとしております。

最後に30ページ、31ページに国立社会保障・人口問題研究所の行った本市の人口推計と本市の目標数値となる人口推計の対比のグラフ、人口ピラミッドを掲載し、本市の人口ビジョンの最終案を取りまとめしております。

次に「境港市総合戦略（案）」について説明させていただきます。

総合戦略については、前回7月に開催しました第3回の推進会議で、それまでにでた委員の皆様の見取りまとめる形で総合戦略の骨子の素案をお示しし、その内容についてご論議いただいた上で骨子（案）をとりまとめ、7月31日から8月31日までの1か月間、パブリックコメントを実施しております。その意見の内容や意見に対する市の回答につきましては、お配りしております「境港市総合戦略骨子（案）への意見募集の結果及び意見に対する回答」の資料に掲載しております。このパブリックコメントでは、2名の市民の方から5項目の意見を頂きましたが、骨子（案）を修正するまでの意見ではありませんでしたので、骨子（案）の原案をもとに、肉付け作業を行うとともに、体裁を整える形でとりまとめました最終案を本日、お示ししております。

本市の総合戦略（案）ですが、1ページから4ページには総合戦略策定の趣旨や位置付け、基本的な考え方、取組の基本的方向と基本目標について骨子（案）を肉付けするとともに、図等を用いるなどして、体裁を整えて掲載しております。

5、6ページ目には、これまでも説明してまいりましたが、本市の総合戦略の3つの目標について、それぞれの目標ごとに具体的な5年後の目標数値や目標達成に向けた施策の基本的方向を掲載しております。その中で6ページの中段から下段にかけて掲載しております、圏域の目標に対する数値目標ですが、これは骨子（案）の段階では数値目標をお示ししておりませんでした。このたび中海・宍道湖・大山圏域市長会にて圏域の数値目標を定めましたので、最終案に掲載しております。

次に7ページ以降には、それぞれの目標に対する具体的施策を施策の基本的方向ごとに5年後の成果目標であるK P Iとともに掲載しております。

まず1つ目の目標であります「3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり」についてですが、産業振興・雇用創出、観光の振興、社会基盤の整備、移住・定住の促進の基本的方向の項目ごとに成果目標や具体的施策を7ページから14ページに掲載しております。内容に関しましては前回お示しした骨子（案）の内容をもとに掲載しております。

次に2つ目の目標であります「子育てするなら境港」を標榜した子育て環境づくりについては、同様に15ページから17ページに掲載し、圏域の目標である「県境を越えた広域連携による魅力ある圏域づくり」については、18ページから20ページに掲載し、最終的な総合戦略案を取りまとめております。

最後に国の動向について説明させていただきます。本日お配りしております「参考資料：地方創生の深化のための新型交付金」をご覧ください。

国は地方創生の深化に向けて、地方公共団体の自主的・主体的な取組を支援することとし、K P Iの設定とP D C Aサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援するために平成28年度に新型交付金を創設することとしております。8月末締め切りの国の概算要求では、各府省合計で1,080億円が要求されており、想定されている支援対象は、民間協働や地域間連携などの先駆性のある取組や地方公共団体自身が既存事業の隘路を発見し、打開するために行う取組となっております。交付率については、現在のところ、事業費の1/2が想定されております。しかしながら現時点では具体的な国の制度設計などについては、現在国で検討中とのことであり、未だこれ以上の内容が示されておらず、具体的な国の説明は年明けになるということであり、今後、情報等が入り次第、委員の皆様には情報提供をしていきたいと思っております。

簡単ではございますが、説明に関しては以上とさせていただきます。

（会長）

それでは、只今、事務局より説明のありました「境港市総合戦略（案）・人口ビジョン（案）」について、ご意見やご質問などありますでしょうか。

ご発言なさる方は、挙手のうえ、お願いいたします。

いかがでしょうか。

(委員)

総合戦略（案）の内容については、今まで揉まれた内容で、いいものだなと思うのですが、今後この内容を実行していく中で、役所内では教育委員会や建設部が担当する事業など担当が多岐に渡ると思いますが、５年間で何らかの成果を出していくことを考えると、各課とも日々の業務が忙しい中で、片手間でやっても成果を得るのが難しいと思います。総合戦略推進室などメインとなる組織や推進のあり方が必要だと思いますが、そのような部署、組織を作るというお考えはありますか。

(会長)

ただ今の質問について、私も同様のことを考えておりましたが、このことについて事務局どうでしょうか。

(事務局)

貴重なご助言ありがとうございます。私どもも総合戦略にとりかかる前まで、大変なことになったと思っており、新しい組織を作って取り組んでいかなければ到底できないだろうという予測もしておりました。こういった計画を実際に策定していく中で、役所内でも十分検討したわけですが、計画全体が役所内で日々取り組んでいる業務の延長線上のものであり、急に新たなものを行うわけではなく、日ごろの仕事がベースとなった延長線上にそれぞれの施策があるものであります。表現が正しいかわかりませんが、国が地方は新たなことを全部やれというような指示をしたように受け止めがちですが、実はむしろ国より地方の方が、日々こつこつといろんな施策を実施しております。総合戦略の施策が日々の業務の延長線上にある以上、新たな組織を立ち上げ、そこが市政全域の施策をその組織だけで行っていくのは大変難しいことであり、人員の余裕もありませんので、既存の組織で実行していくのがよいだろうと考えております。

９月の議会においても同様の質問がございましたが、市長ともよく相談いたしまして、できるだけ今の組織を充実した中で日々取り組んでいくこととしております。当然、担当部長がおり、市長以下の役所内の本部会議をしょっちゅう設けておりますので、ご安心をしていただきたいと思いますし、ご理解をお願いしたいと思っております。

(会長)

ただいま事務局より回答ありましたが、いかがでしょうか。

(委員)

確かに役所の職員数も減ってきており、少数精鋭で日々の業務を行っている中で、日々の仕事と共に総合戦略の施策に取り組んでいくものというのは理解しております。新たな組織ができないということであれば、日々の業務で忙しい中だとは思いますが、せっかくこういった５年間の目標ができたので、是非達成できるように努力していただきたいと思います。よろしくお願

します。

(会長)

そのほかにご意見ありますでしょうか。

(委員)

質問というよりも要望ということで一言述べさせていただきます。総合戦略の内容については総じて総花的なものなりがちですが、境港市の総合戦略（案）を見させていただきまして、非常に要点を絞って、コンパクトにまとめてあるなと思いました。数値目標についても精査されていると思います。先ほど会長からもありましたが、これからどのような形にしていくかということが肝要であります。これから具体的な事業を国に諮って、交付金が交付されると思いますが、1/2の補助率ということでもありますので、市の財政事情とも関わってくる部分が大きいと思います。それを踏まえて事業の優先順位をしっかりと見極めて実行に移していただきたいと思います。この部分について要望ということでよろしくお願ひしたいと思います。

(会長)

ただいま、事業に取り組むにしても優先順位をつけて取り組んでほしいという要望ございました。もっともなことだと思いますが、事務局は何かこれについて意見がありますでしょうか

(事務局)

おっしゃるとおりですので、そのように取り組んでいきたいと思います。

(会長)

そのほかにご意見ありますでしょうか。ないようでしたら私のほうから一つ意見を述べさせていただきます。先ほど、この総合戦略について市のどこの部署が担当するのかという質問がありました。それについては事務局の回答内容でかまわないと思いますが、当推進会議の役割についてです。計画の策定に携わって、策定終了して、終わりということではないと思いますが、今後の役割について委員の皆様にも明確に説明をしていただくというのが一点です。また今後関わっていく場合、非常にたくさんの委員がおられますので、同じように全員が一同に会して、議論を行っていても収集がつかない面もあるかと思いますが、一方でPDCAサイクルを実施し、今までとは違うやり方で結果を出していかないといけないということですが、今後の関わり方、会議の運営の仕方について事務局に説明をしていただきたいと思います。

(事務局)

冒頭の会長の挨拶にもありましたが、委員の皆様には今回、総合戦略の策定に携わっていただきましたが、当推進会議については、戦略の策定だけが全てではありません。今後、各事業展開を図っていくわけですが、それについては戦略にのっとった各施策を行政だけで実施していくの

は、難しい部分がございます。産官学金労言の各団体の代表の方々に今回当会議の委員になっていただいておりますので、役所の各部署が事業展開を図っていくにあたって、それぞれの委員の皆様や委員の皆様が関わっておられる団体と協議等を進めながら、事業を展開していきたいとおもっております。さらに実施した事業について、総合戦略の成果として表れているかどうか毎年度検証していただき、その上で成果が表れていないものについては、どのような問題があるかなど、行政だけでなく、委員の皆様の意見を組み入れてさらに発展させていけたらと考えております。

また、検証や戦略の見直しなどを行う会議の進め方についてですが、現在25名の方に委員になっていただいております、一同に会して会議を行っておりますが、今後については、会長も言われる通り、25名が一同に会しては、なかなか意見の集約もできない部分もありますので、分科会方式での実施なども検討していきたいと思います。今後の進め方などについては会長含め、協議、検討させていただきたいと思います。

(会長)

わかりました。ただいまの事務局の回答について意見がありますでしょうか。

総合戦略については、絵に描いた餅でなく、実際に実行していかないといけませんので、成果の出せるやり方について、検討していくという事務局の回答です。

この回答について意見はないようですが、そのほかに意見はありますでしょうか。

(委員)

具体的な施策はたくさん書いてあり、われわれは監視役という立場だと思いますが、例えば14ページの施策、定期借地権制度の施策について成果目標が50件とありますが、まだ夕日ヶ丘にそんなに土地が残っているのでしょうか。1丁目はまだ土地が残っているとは聞いていますが、50も60もないかと思いますが、2丁目の方もほとんど埋まっていると聞いておりますが、どうでしょうか。成果目標についてあやふやな面があるなと思います。また15ページで婚活支援コーディネーターの設置の検討とありますが、検討というと役所では実施しないようなイメージに感じてしまいますがいかがでしょうか。われわれが一つ一つ検証していくうえで、監視役になっていきたいと思っておりますがいかがでしょうか。

(会長)

委員のご意見のように私達委員一人ひとりが、監視役という用語弊があるかもしれませんが、人ごとではないという意識を持つような取組をしてもらわないといけないというのは私も同意見です。成果目標について、件数がどうという話がありましたが、細かいことを議論すると話がややこしくなりますので、今後検証していく中で見直しをすることもありますので、よっぽど目標がおかしいという部分などあれば意見を出していただき、今後見直しを行っていくということになると思います。不備等あれば今後見直ししていくということでよろしいでしょうか。

(事務局)

定期借地権の目標数値50件についてですが、空き区画については当然50件以上残っておりますのでこのような設定を行っております。婚活支援コーディネーターについては、検討というのは役所の言葉ではないかということですが、民間に働きかけて、そちらでやっていただけるということであればありがたいことでもありますし、それに補助金などの条件が必要なようであれば整備の検討をしていきたいと思っています。委員の意見でもありましたように国の交付金について、当初は全額補助のような話であったものが、1/2の補助になるということで、財源面での制約がかかり、優先順位をつけながらどのような施策に取り組んでいくかという中で、婚活支援コーディネーターを市独自で設置となると常時雇用の金銭面の部分もありますので、優先順位を付けた中でできる限り取り組んでいきたいと考えております。総合戦略の施策については、民間で行っていただく項目もたくさん入っております。例えば、現在行っている、伯州綿の栽培などのように皆様のお力をお借りしながら今後事業を進めていきたいと考えております。事業実施について国からどれだけの交付金があるかというところで、市がどのように事業に配分していくのかということも十分考えて取り組んでいきたいと思っています。

(会長)

そのほかに意見はありますでしょうか。

(委員)

総合戦略としていろいろな施策が今、案として出されておりますが、要するに委員の私たちがそれを監視するという面もありますが、市民として一緒に取り組んでいかないとできないことだと思います。私たちはプレイヤーでないといけません。応援団も必要ですが、それぞれが良いプレイヤーにならないと良い仕事はできないと思いますので市民も一緒になって取り組めるような施策・事業展開をこれから行っていただきたい。それによって気運が高まり、良いプレイヤーがたくさん出てくれば、自ずと事業が進んでいくと思います。応援団も必要ですが、応援団ばかりでは事業が進んでいかないので、個々の市民がプレイヤーとして参加できるような施策・事業展開をこれから行っていただきたい、私たちも行っていきたいと思っています。

(会長)

今後の施策・事業展開について力強いお言葉ありがとうございました。

そのほかに意見はありますでしょうか。

(委員)

総合戦略について一点質問があります。たくさんの具体的な成果目標が示してあり、例えば11ページのクルーズ船の観光客数について、2019年に3万人とありますが、目標を2019年より早期に達成した場合には、目標を上方修正するような考えがあるのか、また上方修正してさらなる高みを目指して取り組んでいくのか、達成に満足して手を抜いていくのか、その点について基本

的な考え方をお聞きしたいと思います。

（事務局）

委員の皆様は今後、PDCAサイクルに関わっていただく中で、成果目標の数値だけでなく、施策についても、社会情勢が変わったのでこのような取組をしたらどうかといったことなどあれば、総合戦略については修正を加えていかないといけないと思っておりますので今後ともよろしくをお願いします。

（会長）

成果目標の数値については変更していけばいいと思います。例えばクルーズ船の外国人観光客数3万人を達成したら、次は7万人にするなど、見直しをしていけばいいと思います。

そのほかに意見はございませんか。

それでは意見は出尽くしたようですので協議事項「境港市総合戦略（案）・人口ビジョン（案）」について終わらせていただきます。

「その他」について、事務局で何かありますでしょうか。

（事務局）

今回、境港市総合戦略（案）・人口ビジョン（案）についてお示しさせていただきましたが、当内容にて最終案とさせていただきますよろしいでしょうか。

特にご異論ないようですので当内容を最終案とさせていただきます。ありがとうございます。

今回了承いただきました境港市総合戦略（案）・人口ビジョン（案）については、市内部で誤字、脱字等の精査を行い、市長決裁をとったうえで早急に国へ報告するとともに、市民の皆様にはHP等で公表していきたいと思っております。今後の策定スケジュールですが、遅くとも10月末までには、策定を終了させたいと思っております。

なお、本年度の推進会議は、今回で終了となります。市を代表しまして副市長の安倍 和海よりご挨拶をさせていただきます。

（副市長）

本日は、お忙しい中、推進会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

委員の皆様には、5月の第一回から今日まで、約半年間にわたり、本市の総合戦略策定に関して、ご協議いただき、貴重なご意見を多数頂きましたこと、心からお礼を申し上げます。

さて、第一回会議の冒頭に市長が申し上げましたとおり、本市におきましては、これまでも本市の将来を展望し地方創生に先駆けて、限られた財源の中で観光の振興や産業の活性化、子育て

支援策の充実などに取り組んでまいりました。

当会議にて委員の皆様から多くのご意見を頂き、新たな視点を取り入れながら、今まで取り組んできた施策を維持・発展させ、境港市のさらなる振興につながる総合戦略がまとまったものと思っております。

この総合戦略をもとに、委員の皆様をはじめ、産・官・学・金・労・言の各団体の皆様にご協力を頂き、魅力と活気にあふれ、心豊かに安心して暮らせる「境港市」の実現に向けて共に取り組んでいきたいと思っております。

総合戦略の実施におきましては、先ほどからお話しに出ておりますが、P D C Aサイクルを実行していくことが重要でございます。

皆様方には引き続き、施策の実施、効果の検証、戦略の見直しといったP D C Aサイクルの実行についてご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

(会長)

それでは、本日の推進会議は終了といたします。

委員の皆様には、約半年間、夕方の18時半という非常にお出かけいただきにくい時間帯にも関わらず、出席いただきましたこと会長として厚く御礼申し上げます。また総合戦略策定について多大なご尽力をいただきましたこと、改めて心からお礼を申し上げまして、閉会の挨拶といたします。ありがとうございました。

《閉会》